

Art explores the creative capacity of spaces in urban context

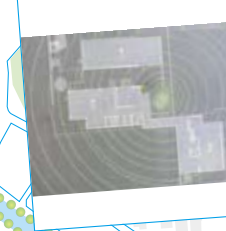
DAIKANYAMA INSTALLATION 2009

Nov. 1-23, 2009
in Daikanyama+Nakameguro, Tokyo

6 ヒルサイドウエスト・イントランス
「水響」
岩田森子 古屋敷武明
(Architecture designer)
光の波紋と音の揺らめきを体感する。それは地球規模で起きている水問題と我々の生活を連続する環境として捉えるきっかけとなる。



7 ヒルサイドウエスト
「tsunagari」
藤本哲也 (産業芸術大学院大学)
都市と共に40年発展してきたヒルサイドテラスを代官山と繋ぎ、ヒルサイドウエストを一体を際立たせる作品にしたいと考えました。



8 西郷山公園
「丘の音楽家」
藤井達佑 (慶應義塾大学大学院) 山下航司 (東京大学大学院)
丘にはわれわれは田舎を誇りと音が鳴ります。丘を登るにつれて音も高くなります。自分のリズムで丘の音を奏でてみてください。
※作品鑑賞時間：10-17時



都市とアートの新しい関係と共存の可能性を探る
代官山インスタレーション2009
2009年11月1日(日) - 23日(日)

10 中目黒 GT 広場
「Look Up Rain」
保坂安美 (武蔵野美術大学空間演出デザイン学科)
どこからか聞こえてくる雨の音。晴れているのに思わず空を見上げたり、手を差し出してみたり。その人の頭の中にだけ降る特別な雨。
<http://hosakaami.web.fc2.com>



9 中目黒 GT 広場
「代官山ローム層」
小林祐 (千葉大学建築環境学専攻) 小林雅典 (日本大学建築学専攻) 小林雅典 (日本大学建築学専攻)
都市というものは大地に根ざしたものである。私たちはそれを忘れていないだろうか。都市の地下に地層を出発点とそれを問う。



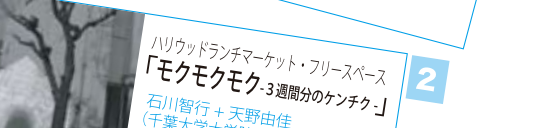
5 プラスイングアティック屋上
「他知人」
高橋寛 (フリー)
人と関わることと同じように建築と関わるための作品。生えるはずのない髪の毛は見えない「かたち」を教えてくれる。
※屋内からの作品鑑賞時間：13-20時
都合により、会場内からの鑑賞ができない場合もあり。<http://plusing.exblog.jp/7413134/>でご確認ください。



4 NTT 社宅跡地 仮囲いフェンス
「向こう側」
武田慎平 + 田中和沙 + 中島遙 + 炭入瑛永 (東京電機大学大学院山本研究室)
拒絶するように閉じていた壁に扉がうまれ、その向こう側が垣間見えます。まるでそこにあるかのように。
<http://yamalab.jugem.jp>



3 ヒルサイドテラス F 棟
「縫合」
佐々木尚之 / URDL (慶應義塾大学環境情報学部小林研究室)
ガラスを挟んで存在する空間をベンチによって縫い合わせました。2つの空間で「座る」という動作を共有してみてください。



2 ハリウッドランチマーケット・フリースペース
「モクモクモク・3週間分のケンチク」
石川智行 + 天野由佳 (千葉大学大学院薬生研究室)
街の魅力的な溜り場を可視化します。周りの建物を数十年分の建築とすると「3週間分のケンチク」はおそらくこの様になります。



1 ヒルサイドテラス
「Urban Voyager」
土屋真 (シマツチャージャーキョウ主理、首都大学東京教授) 岡哲夫 (m-form 主宰)
都市には意識があるのではないかと考えている。スコープで都市を観察することも意識の流れにふれることができるかもしれない。
<http://sites.google.com/site/urbanvoyagerkaiko/>



関連企画 HPに掲載しています。
<http://www.artfront.co.jp/dinsta>
■作品見学ツアー
11月8日(日)・15日(日)
14時から1時間半程度
集合場所: ヒルサイドテラス A 棟前

